

2016 3B 期末 (打ち間違えあったらメンゴ、下に本物つけときます)

1.  $\{a_n\}_{n \geq 1}$  を数列で任意の  $n \geq 1$  に対し  $a_n \geq 0$  とする

以下の命題について正しければ証明し、間違いならば成り立たない例をあげよ。

(a) 「 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 a_n = 0$  が成り立つならば  $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$  は収束する」

(b) 「 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$  が収束するならば  $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 a_n = 0$  が成り立つ」

2. 次の級数が終息するかどうか調べ、(b)、(c)については収束するような実数  $x$  の範囲を求めよ。

$$(a) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{n^{\frac{1}{n}}}{2^n} \quad (b) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^n}{2^{2n} \sqrt{n!}} x^{2n} \quad (c) \sum_{n=1}^{\infty} \frac{(x^2+x+1)^n}{n(n+2017)}$$

3.  $f$  を  $\mathbb{R}^2$  上で定義された連続関数とする。次の類似積分の積分範囲を図示し、積分順序を交換せよ。

$$I = \int_{-1}^1 \left( \int_{\log(x+2)}^{-x^2+4} f(x, y) dy \right) dx$$

4. 次の重積分の値を求めよ。

$$(a) I = \iint_D \frac{x^2}{1+y^4} dx dy \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; 0 \leq x \leq 2, x \leq y \leq 2\}$$

$$(b) I = \iint_D e^{\frac{x-y}{x+y}} dx dy \quad D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x+y \leq 1, x \geq 0, y \geq 0\}$$

5.  $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; \frac{1}{4} \leq 2x^2 + y^2 \leq \frac{3}{4}, x \geq 0, y \geq 0\}$  とする。次の重積分に対して

$x = \frac{r}{\sqrt{2}} \cos \theta$   $y = r \sin \theta$  と置いて変数返還するとき、ヤコビアン  $J(r, \theta)$  を求め

よ。また積分の値を求めよ。

$$I = \iint_D \frac{1 + \sqrt{2x^2 + y^2}}{\sqrt{2x^2 + y^2} \sqrt{1 - 2x^2 - y^2}} dx dy$$

平成 29 年 2 月 2 日 (木) 3 時限施行		学部				学科				年 組				試験時間	90 分	分
担当者名	坂川 博宣 君	学籍番号													採 点 欄	※
科目名	数学3B	氏 名														

次の 1 から 5 に答えよ。途中の計算も適宜答案用紙に記入すること。

1.  $\{a_n\}_{n \geq 1}$  を数列で任意の  $n \geq 1$  に対し  $a_n \geq 0$  とする。

以下の命題について正しければ証明し、間違いならば成り立たない例を挙げよ。

(a) 「 $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 a_n = 0$  が成り立つならば  $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$  は収束する」

(b) 「 $\sum_{n=1}^{\infty} a_n$  が収束するならば  $\lim_{n \rightarrow \infty} n^2 a_n = 0$  が成り立つ」

2. 次の級数が収束するかどうか調べ、(b), (c) については収束するような実数  $x$  の範囲を求めよ。

(a)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{n^{\frac{1}{n}}}{2^n}$       (b)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^n}{2^{2n} \sqrt{n!}} x^{2n}$       (c)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(x^2 + x + 1)^n}{n(n+2017)}$

3.  $f$  を  $\mathbb{R}^2$  上で定義された連続関数とする。次の累次積分の積分範囲を図示し、積分順序を交換せよ。

$$I = \int_{-1}^1 \left( \int_{\log(x+2)}^{-x^2+4} f(x, y) dy \right) dx$$

4. 次の重積分の値を求めよ。

(a)  $I = \iint_D \frac{x^2}{1+y^4} dx dy$ ,  $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; 0 \leq x \leq 2, x \leq y \leq 2\}$

(b)  $I = \iint_D e^{\frac{x-y}{x+y}} dx dy$ ,  $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; 0 \leq x+y \leq 1, x \geq 0, y \geq 0\}$

5.  $D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; \frac{1}{4} \leq 2x^2 + y^2 \leq \frac{3}{4}, x \geq 0, y \geq 0\}$  とする。

次の重積分に対し  $x = \frac{r}{\sqrt{2}} \cos \theta, y = r \sin \theta$  と置いて変数変換するとき、ヤコビアン  $J(r, \theta)$  を求めよ。

また積分の値を求めよ。

$$I = \iint_D \frac{1 + \sqrt{2x^2 + y^2}}{\sqrt{2x^2 + y^2} \sqrt{1 - 2x^2 - y^2}} dx dy$$